

## ＜ 大 会 要 項 ＞

- 1 趣 旨 一般社団法人北信越サッカー協会は、日本(北信越)の将来を担う子供たちのサッカーへの興味と関心を深め、技術の向上と健全な心身の育成、発達を図ることを目的としている。  
この大会は、子供たちがサッカーを通じて身体を鍛え、フェアプレーの原点である、リスペクト「大切に思うこと」の精神を養い、正しく強くそして創造力豊かな人間の育成を目指とある。  
\* 優勝チームは、北信越代表として5月3日からの開催される全国大会への出場権を与える。
- 2 名 称 JA全農杯チビリンピック2019全国小学生選抜サッカーIN北信越  
兼 第24回北信越U-12サッカー新人大会
- 3 主 催 株式会社日刊スポーツ新聞社  
一般社団法人北信越サッカー協会 一般社団法人北信越サッカー協会4種委員会
- 4 後 援 公益財団法人日本サッカー協会
- 5 特別協賛 全国農業協同組合連合会(JA全農)
- 6 協 力 株式会社モルテン
- 7 協 賛 長野県経済農業協同組合連合会
- 8 主 管 一般社団法人長野県サッカー協会 一般社団法人長野県サッカー協会4種委員会
- 9 期 日 2019年3月30日(土)、31日(日)
- 10 会 場 佐久総合運動公園陸上競技場  
長野県佐久市平賀3011 TEL0267-63-7101
- 11 参加資格 2018年度に公益財団法人日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであり、そのチームに所属する選手であること。  
選手は、上記団体に所属し、公益財団法人日本サッカー協会発行の登録選手証を有し、試合に際しては携帯すること。選手は2007年4月2日以降の出生者であること。
- 12 参 加 チーム数 県大会を勝ち進んだ県代表12チーム  
福井・石川・富山・新潟各県より2チーム、開催県長野より4チーム
- 13 チーム構成と条件 原則として、引率指導者2名以上3名以下、小学5年生主体とした選手16名以上18名以下とする。  
引率指導者は、当該チームを把握指導する責任にある指導者であること。また内1名以上が日本サッカー協会公認指導ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有することとし、試合に際してライセンス証を携帯すること。  
参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。  
参加チームは、チームの責任において傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入すること。
- 14 組 合 せ 一般社団法人北信越サッカー協会4種委員会で抽選する。
- 15 大会形式 1日目 予選リーグ  
12チームを3チーム4ブロックに分け、リーグ戦を行う。各ブロック1位チームが翌日の決勝トーナメント進出し、2位3位チームはフレンドリーマッチを行う。  
リーグ戦における順位決定は、勝ち3点、引き分け1点、負け0点とし勝ち点合計の多い順とする  
同点の場合は、得失点差、総得点、当該チームの対戦結果、PK戦(3名)の順により決定する。  
2日目  
決勝トーナメント(3位決定戦を含む)で勝敗の決しない場合は、6分間(3分ハーフ)の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式(3名)により勝者を決定する。PK方式に参加できるのは、試合終了時フィールドにいた選手のみとする。延長戦は選手の出場制限に関係なくすべての選手が出場することができる。  
フレンドリートーナメントで勝敗の決しない場合は、PK方式により勝者を決定する。
- 16 表 彰 優 勝 賞状、北信越杯、楯、金メダル、副賞  
準優勝 賞状、楯、銀メダル、副賞  
第3位 賞状、楯、銅メダル、副賞  
第4位 賞状、楯、副賞  
参加証 出場記念楯(5位以下8チーム)、全チームにJA全農より景品
- 17 開閉会式 チーム代表者(監督者)は、大会1日目9時45分より代表者会議を行いますので大会本部に集合してください。  
開会式 3月30日(土) AM10:15~ 【チーム代表者会議 AM9:45~】  
閉会式 3月31日(日) PM15:00~
- 18 競技規則 公益財団法人日本サッカー協会競技規則「JFA8人制サッカー競技規則」による。  
但し、以下の項目については大会規定を定める。
  - (1) プレー時間は、36分(12分×3ピリオド)
  - (2) インターバル(ピリオド間)：第1ピリオドと第2ピリオド間は、選手交代に要する時間のみとし、第2ピリオドと第3ピリオド間は、5分とする。

- (3) エンドの決定：第2ピリオド後もエンドを替え、約半分が経過したところでエンドチェンジする。 タイミングは審判にゆだねる。
- (4) 試合勝者を決定する方法（36分で勝者が決しない場合）  
 1次ラウンド：引き分け  
 決勝トーナメント：6分（3分ハーフ）の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式を採用。試合終了時に出場している3選手により勝敗を決定する。  
 延長戦に入る前のインターバル：5分  
 PK方式に入るインターバル：1分
- (5) 選手の交代
- ・ 競技者数は、常に8人（うち1人はGK）とする。
  - ・ 原則、選手全員が1ピリオドを通じて出場する。
  - ・ 第1ピリオド出場予定の8人、第2ピリオド出場予定の8人と、その他交代要員を予め明確にする。
  - ・ 交代要員含め同一選手の出場は最大で2ピリオドまでとし、3ピリオド全てに出場することはできない。  
 事故・ケガ等で出場困難な選手が発生し、出場可能な選手が11人以下になったときに限り、1試合に3つのピリオドに出場することを認める。（延長戦はピリオドの数に含まない。）
- ① 第1ピリオド
- ・ 定められた、第1ピリオド出場予定選手が出場する。
  - ・ 試合中の事故・ケガで交代する場合は、交代要員が出場する。  
 交代要員：出場したメンバー表出場印が付いていない選手
  - ・ 交代選手全員が事故・ケガ等で出場困難となった場合に限り、第2ピリオド出場予定の選手が出場できる。
  - ・ 交代して退いた選手は、再び出場できない。（＝自由な交代ではない）
- ② 第2ピリオド
- ・ 定められた、第2ピリオド出場予定選手が出場する。
  - ・ 試合中の事故・ケガで交代する場合は、交代要員が出場する。  
 第1ピリオドで交代して出場していても出場はきかない。
  - ・ 交代選手全員が事故・ケガ等で出場困難となった場合に限り、第1ピリオド出場予定の選手が出場できる。
  - ・ 交代して退いた選手は、再び出場できない。（＝自由な交代ではない）
- ③ 第3ピリオド
- ・ 第1・第2の両ピリオドに出場した選手・交代要員含め出場できる。
  - ・ 何回・何人でも交代でき、一度退いた選手も出場できる。（＝自由な交代）
- ④ 延長戦
- ・ 交代要員含め誰でも出場できる。
  - ・ 何回・何人でも交代でき、一度退いた選手も出場できる。（＝自由な交代）
- (6) 交代の手続き
- ・ 交代して退く選手は、交代ゾーンからフィールドの外にでる。
  - ・ 交代して出場する選手は、退く選手が外に出た後、交代ゾーンからフィールドに入る。
  - ・ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中に関わらず行うことができる。ただし、交代で、退く選手が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
  - ・ 交代は、主審、補助審判の承認を得る必要はない。
  - ・ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合停止中に入れ替わることがでる。
- (7) メンバー表
- ・ メンバー表2部を毎試合開始50分前に本部へ提出すること。  
 （メンバー表は、本大会に提出したエントリー表を使用すること。）
  - ・ 選手証チェック（1日／1回）は、試合開始60分前までに大会本部で受ける。
- (8) ユニフォーム
- ・ 試合に際しては、大会参加申込の際に登録している正・副2色のユニフォームを用意すること。
  - ・ 日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
  - ・ ユニフォームの決定は、試合開始50分前までに本部にて審判団立会いのもとに決定する。  
 （ユニフォーム及びピブスは予備の現物、もしくは写真を用意すること。）
- (9) ベンチ入りする人数
- ・ 13名以内（交代要員の数は8名以上10名以内、引率指導者3名以内）
  - ・ ベンチでのコーチングは必ず1名とし、テクニカルエリア内で行うこと。
  - ・ チームベンチは、組合せ表の左側がピッチに向かって左側のベンチとし、右側のチームが右のベンチとする。
- (10) アディショナルタイム  
表示しない。
- (11) ファウルと不正行為
- ・ 警告・退場： 通常の競技規則に準ずる。
  - ・ 退場： 当該チームは交代要員の中から競技者を補充し、常に8人でプレーする。
  - ・ 退場処分： ベンチ（監督・コーチ・役員他）が判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声などのネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に、再度同様な行為があった場合は、主審

の判断により退場処分とし、それ以降はベンチからのコーチングは不可とする。

- ・ 大会期間中、警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
- ・ 本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。
- ・ 規律・フェアプレー委員会： 本大会規律・フェアプレー委員会は、大会実行委員長、副委員長・審判委員長・実行委員会で構成されたメンバーで行い。
- ・ 本大会で累積は全国大会、或は次年度の本大会に持ち越される。

(12) 登録選手証

本大会出場する選手は、日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。ただし、写真貼付により顔の認識ができるものであること。選手証とは、本大会では、日本サッカー協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録一覧証を印刷したものを示す。スマートフォンやPC等の場面に表示したものは、本大会では不可とする。

(13) 競技場

天然芝のグラウンドをしようする。

- (14) ピッチサイズ : 縦68m×横50m  
ペナルティエリア : ゴールライン上、ゴールポスト外側に12mその地点からゴールライン直角12m  
ゴールエリア : ゴールライン上、ゴールポスト外側に4mその地点からゴールライン直角4m  
センターサークル : 半径7m  
ペナルティマーク : 8m  
ペナルティアーチ : 半径7mの半円弧  
フリーキック時の壁との距離 : 7m

- (15) ゴール : ゴール内のり縦2.15m、横5m

- (16) ボール : 4号球 (モルテン製)

- (17) コーナーキック : ボールがインプレーになるまで相手競技者は、コーナーアーチから7m以上離れる。

(18) グリーンカードの導入

- (19) 製身具 : 一切の製身具の着用を禁止し、製身具を覆うテープの使用も不可とする。但しヘッドギア、フェイスマスク等危険でない保護用品については審判団確認の上、使用を認める。

19 審判

- (1) 審判員は、主審1名、補助審1名とし主審1人制で行う。
- (2) 北信越U-18ユース審判研修会に参加のユース審判員とするが、主審は原則として3級以上の審判員とする。但し、北信越審判委員会が認めた4級審判員は主審を務めることを認める。
- (3) 審判員は正装で行うこと。審判証を持参すること。
- (4) 主審は試合終了後、できるだけ早急に審判報告書を提出すること。
- (5) 割り当てられた審判員は、キックオフ50分前に本部に集合し、試合に用いるユニフォームを決定するとともに充分な打ち合わせを行うこと。

20 参加料

10,000円 (指定口座に3月1日(金)までに振り込むこと。)

☆ 振込先

銀行名 : 「北陸銀行」  
店名 : 滑川(なめりかわ)支店  
店番 : 126  
普通預金 : 6056779  
口座名 : 一般社団法人北信越サッカー協会  
シャ)ホクシンエツサッカーキョウカイ  
大会コード番号は 「G0702」  
振込は、大会コード番号・チーム名・振込者名を必ず明記の上、振込して下さい。

21 昼食

大会中の昼食(お茶付き)を別紙書式(③弁当注文書)にて申し込んでください。  
(事前申し込みのけと)

22 宿泊

県外チームの宿泊先は別紙書式(②宿泊申込書)にて申し込んでください。

23 その他

- ① 参加チームは3月31日(日)の閉会式まで残っていただきます。
- ② アップ場は、補助競技場を使用して下さい。(人工芝)
- ③ 試合中の傷害事故については参加チームの責任を負って下さい。
- ④ ピッチ内での飲食は、水のみとします。(スポーツ飲料、お茶は禁止)
- ⑤ 競技場、ピッチ内は禁煙です。喫煙は決められた場所をお願いします。
- ⑥ ごみは各チームの責任をもって、持ち帰って下さい。  
(弁当殻は業者に渡しますので指定の場所に集めてください。)
- ⑦ 車は指定駐車場に駐車をお願いいたします。  
(各チーム共15台程度をお願いいたします。)

24 参加申込み

2018年2月15日(金)までに①②③を大会事務局宛に、各県の代表権を獲得したチームの責任がメールにて申込みをして下さい。  
①参加申込書 ②宿泊申込書 ③弁当注文書  
上記の提出を持って、参加申込みとします。

25 大会連絡先

一般社団法人長野県サッカー協会第4種委員長  
一般社団法人北信越サッカー協会第4種委員長